

授業科目

教育方法・技術

担当教員名 小野 まどか	対象学年	2	対象学科	健栄・スポ・看護
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	○	○	○

授業の概要

教育方法は、学校教育において授業を適切に実施するための重要な技能である。学習指導要領や適切に編成された教育課程があっても、教員が適切に実現できなければ単なる計画に過ぎない。この授業では、最初に今求められているアクティブ・ラーニングについて理解を深め、様々な教育方法や教材、評価法について取り上げる。なお、受講者には、個人及びグループワークでの課題を提示するので、課題に対して積極的に取り組むことも必要となる。

授業の目的

この授業では、様々な教育方法や教材、評価法があることを基礎的知識として身につけ、さらには自ら授業計画の必要に応じて活用することや応用することができるようになることを目的とする。

学習目標

上記の目的を達成するために、この授業では、以下の学習目標を設定する。

- 1 アクティブ・ラーニングについて理解し、説明できること
- 2 教育思想と教育方法の歴史について、西洋の流れを理解し、説明できること
- 3 教育思想と教育方法の歴史について、わが国の流れを理解し、説明できること
- 4 現代の教育方法についての論点と課題を理解し、説明できること
- 5 学習指導要領に基づく単元や授業の設計方法について理解し、実践できること
- 6 教育目標論・内容論について理解し、説明できること
- 7 学習論について理解し、説明できること
- 8 学力論について理解し、説明できること
- 9 授業設計に基づく授業展開と指導方略について理解し、説明できること
- 10 教材について理解を深めること
- 11 評価方法について理解を深めること
- 12 個人課題に対して積極的に取り組むこと
- 13 グループワークでの課題に対して協力し合って取り組むことができること

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	教育方法・技術の概要	ガイダンス	小野 まどか
2	今求められるアクティブ・ラーニングの事例	講義、グループワーク	小野 まどか
3	今求められるアクティブ・ラーニングの実現	講義、グループワーク	小野 まどか
4	西洋における教育思想と教育方法の歴史	講義	小野 まどか
5	日本における教育思想と教育方法の歴史	講義	小野 まどか
6	現代の教育方法についての論点と課題	講義	小野 まどか
7	学習指導要領に基づく単元・授業の設計	講義、グループワーク	小野 まどか
8	教育目標論・内容論	講義、グループワーク	小野 まどか
9	学習論	講義、グループワーク	小野 まどか
10	学力論	講義、グループワーク	小野 まどか
11	授業設計、授業展開と指導方略	講義、グループワーク	小野 まどか
12	情報機器と教材の活用及び開発	講義、グループワーク	小野 まどか
13	評価方法	講義、グループワーク	小野 まどか
14	教科外教育活動について	講義、グループワーク	小野 まどか
15	まとめ、これからの教育に求められるもの	講義	小野 まどか

使用図書

--	--	--	--	--	--

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	授業中に提示する。					
その他の資料						

評価方法

授業中の課題への取り組み 60%

期末試験成績 40%

※ただし、出席率が3分の2に満たない受講者は受験資格を失う

履修上の留意点

- ・講義形式の際には板書及びパワーポイントにて行うため、授業内容をノートにまとめるようにすること
- ・グループワークが行われるので、課題には共同で取り組むこと

オフィスアワー・連絡先

授業開始時に担当教員より連絡する。